

編集後記：「天気」の編集委員を拝命して十数年が過ぎました。その間、何篇かの論文の編集を担当し、叱られたり励まされたり感謝されたり、編集の仕事の難しさを嘯み締め反省するとともに、喜びも味わってきました。新たな年を迎え、退任の挨拶っぽくなりましたが、そうではありません。実はここ数年、ほかの編集委員の方々と名前を連ねているのが申し訳ないぐらい、編集委員の仕事は何一つしていません。ほとんど唯一の仕事は、この編集後記を書くことぐらいです。

編集後記というかどうか巡り合わせか、2年ごとに、だいたい年明けから春先に担当しています。6年前もそうでした。そうです。今年は横浜で学会春季大会が開催される年です。前回は、懇親会幹事として実行委員会に参画しました。そのときの編集後記は、懇親会を話題にさせていただきました。2008年3月号です。ご興味のある方はご覧ください。

懇親会はその名のとおりに、世代を越えて親交を深め気兼ねなく語り合う場であり、当時の編集後記では、学会の発展・継承のため、懇親会に積極的に参加しようという趣旨の呼びかけをしました。ところが私自身、編集委員の仕事と同様、最近はほとんど懇親会に参加していません。参加しても、旧知の仲間と談笑する程度で、交流を広げようとする姿勢が足りなかったように思います。

編集委員は、機関誌を通して学会会員の交流を図るのが使命です。しかし、編集委員は学会あつての存在です。編集委員として貢献できないのなら、とりあえず今年は、懇親会を通してつなぎ役を務めようと考えているところです。土地柄、懇親会の参加費は少々高めですが、中華街屈指の有名店の中華料理が出るはず!?ですし……本当の目的は何でしょうね。

(中西幹郎)